

# 寸劇「現在と過去—今と昔—倅田來未とピンクレディー」に取り組んで

## プロフィール

### 地域

大和高田市は奈良県の北西に位置する人口約7万人、面積16.49km<sup>2</sup>の県内中部地域の中核都市である。近年、大規模量販店の進出や大阪へのアクセスが便利とあってマンション群が立ち、新しい景観を形成している。

### 学校

- ・幼稚園8園—片塩 高田 土庫 浮孔 磐園 陵西 菅原 浮孔西
- ・小学校8校—片塩 高田 土庫 浮孔 磐園 陵西 菅原 浮孔西
- ・中学校3校—高田 片塩 高田西

### PTA

大和高田市PTA協議会の会員数は約6,000名。2年目を迎えた「子ども夢街道」では、子ども、PTA、教職員、地域が一体となった事業を展開し、市民に大きな感動を与えた。

## 1 はじめに

社会の激しい動きの中で子どもたちを取り巻く環境には大きな変化がみられる。学校と家、塾（習い事）の往復、一人でゲーム、「ケータイ」メールに没頭しているかと思えば、何人かで集まっても各自がばらばらに違ったことをしている光景を目にする。学校での友人間での会話や先生との関係、親との対話、近所とのかかわりなど、ひと昔前の子どもたちとは大きな違いが見受けられる。時代の流れだからしかたがないと、かたづけたいはられない現実がある。

大和高田市PTA協議会は、こうした子どもたちの状況があるからこそ子どもを真ん中にすえ、子どもや親、地域の人々の心にひびく活動とは何かをここ数年、検討してきた。

そして、昨年度から、ペットボトルで灯ろうを作り、ろうそくを灯す「子ども夢街道」に取り組んでいる。子ども、教職員、地域が一体となった事業であり、子どもたちの灯ろうのあかりが幻想的な雰囲気をもたらし、地域の人々に大きな感動を巻き起こした。

今年度は、今の子どもたちの生活をどう見るのか、生活面での課題の背景には、家庭でのしつけや家庭教育の弱まりがあるのではないだろうかととらえ、本年度は大和高田市PTA協議会研究大会で、子どもたちの生活にかかわる問題に焦点をあてて取り組むこととした。

## 2 寸劇に取り組んで

### (1)寸劇に取り組んだねらい

子どもたちの生活の現状をとらえるには、子どもたちを見つめることから始めなければならぬ。それは、同時に子どもを見る大人の心のあり方が問われる問題でもある。そこで、テーマを「子どもの明日を育むPTA活動ー見つめよう子どもの心・見直そう大人の心ー」をきっかけ、より具体的に身近にとらえられる方法として寸劇に取り組むことにした。講演等で話を聞くことも大切だが、参加者に視覚的に問題点を示すには、劇で子どもたちの生活を具体的に示すことが有効な手だてと考えた。しかも、参加者により理解を深めてもらうためにも、自分たちが子どもの頃の様子と今の子ども様子を登校風景から学校での様子、下校風景までをあらわし、比較することにより深く考える機会としたのである。そして、寸劇のあと、その内容を受けてパネルディスカッションに取り組み(市教育長、校長、市P会長・副会長など五人)、より具体的に論議を深め、考える視点を提起し、解決への糸口をさぐるうとした。

### (2)シナリオの内容

舞台のシーンはカバンを持たされている我が子が「いじめにあっているのでは」と担任に詰め寄るが、話にならないと教育委員会に駆け込むシーンから始まる。

#### 昔の学校風景

次に自分たちが子どもの頃の登校風景へ

先生や近所のおばさんへ元気

な大きな声であいさつ

先生との何気ない会話

たわいない昨日のテレビの話

ピンクレディーの歌と踊り

授業風景

着席 出席確認 遅刻してくる子

悪

いことをすればそれなりの

処罰

下校から家庭で

カバン持ち 母親がジャイケン

ン勝つように練習相手になっ

てくれている

#### 今の学校風景

あいさつはするが小声か頭を

下げて行く みんな元気がな

く眠くだるそう

授業風景

メール、ケイタイの話。ゲー

ムの話

塾通い

朝ご飯調べ

子どもの様子から「座りなさ



母親がジャイケンの練習



悪いことをすればそれなりの罰



近所のおばちゃんとの会話

い。じつとしなさい」と先生が叱る

母親が仕事のため早く家を出て、遅刻してくる生徒

みんな後ろ向きに口々にしゃべっている

倅田來未のキューティーハニーを歌い踊る子どもたちそれを叱る先生

下校

何やかやと理由をつけられカバンを持たされている子、それを見た近所の人

が「いじめと違うか」と母親にメールで知らせる。母親は怒って我が子に詰め寄り聞きただす。直ちに学校へ文句を言いに行く。

その様子を見ていたお父さんの回想で幕は閉まる。「おれも昔カバン持ちして帰ったなあージャイケン弱いからおかーちゃん練習してくれた。けどいじめられたとは思わへんだ」。

(映像を見せられないのが実に残念ですが)

### 3 寸劇の取組の経過

今回、市PTA研究大会で劇を上演するきっかけになっ



「いじめ」と違うかと子どもに母親がつめよる



キューティーハニーの踊り

たのは、日本PTA全国大会さぬき大会に出席して上演された劇を見てからである。九月の理事会で本年度の研究大会は劇に取り組むこと、パネルディスカッションに取り組むことを提案し、特に、その内容として、子どもたちの基本的な生活習慣を見直す取組を中心に論議を重ねてきた。

シナリオは、丸亀市PTA連絡協議会が演じられた内容を参考にさせていただき、現在と過去の親子のつながりをベースに、学校、友達、地域の人々とのかわりまで内容を広げた。また、練習等のために集まる機会がどれだけとれるか不安があったものの、各単位PTA会長が役割を分担した。劇の上演会場も最初は二〇〇人規模の小ホールを想定していたが、劇の練習が始まり（中学校の空き教室や体育館で）、出演者から子どもたちのリアルな実態が出され、その都度、シナリオが加筆され完成をみた。

また、劇での大道具、小道具、効果音など一般会員も多くが協力し、市教育長、校長先生をはじめ教職員が出演した。そして、この寸劇が県PTA関係者や近隣のPTA関係者に広がり劇への協力者が相次ぎ、取組の輪が地域的にも大きくなった。そして、ついに八〇〇人収容の大ホールでの上演となった。この二月七日の本番前に、奈良県PTA協議会研究大会でも出演が決まり、上演され大好評をほくした。

□パネルディスカッション

テーマは、「現在と過去、かわり、をとおしてできること」である。この場では、参加された皆さんに子どもと大人、地域との「かわり」について課題をより具体的に示すことで皆様と共に考え解決して行く糸口をさぐるこ

である。ただ、心得ておかなければならないのは、「昔は良かった」という認識を共有することではない。現実の子どもを直視し、どう見るか、どう対処していくのか、それぞれがそれぞれの家庭の実情や地域にあった取組に役立てて欲しい。

パネルディスカッションのポイント

- ・保護者と子どもの距離感
- ・近所のおばちゃんとかかわり
- ・先生との関係
- ・生徒同士の教室での話題

## 4 活動の成果と課題

劇の出演者はサラリーマン、自営業、公務員、主婦、教職員などさまざまな職業の方々である。年齢も二〇代から五〇代まで幅広い層で、普段は大変忙しく全員がそろっての練習ができないのが実状であった。ようやく初めて全員がそろうことができたのが奈良県PTA研究大会の本番当日であった。

それでも、十回近い練習の成果が大いに出て、上演は大成功のうちに終わった。そして、その後のパネルディスカッションでは、参加者がより深く考えさせられたとの感



パネルディスカッション

想が出されていた。まさしく県PTA研究大会の「チェンジ」の声が聞かれた。

PTAとして決まった行事を例年通り繰り返すことから子どもを真ん中にすえた取組へと着実に歩み出している。「子ども夢街道」、寸劇の取組、保護者、教職員、近隣PTA役員の垣根を越えて活動の輪が広がり、みんなが楽しく活動することができた。劇終了後、「PTA活動は楽しくなければ」との声が交わされ、また、近隣の会長さんからは、「なぜ、そんなに高田のPTAは元気なの」との声が出されていた。みんなが一つになり、大きな力を生み出した。みんなが苦労したもの達成感はなにもものにもかえがたいものがあった。

## 5 今後の課題

言うまでもなく、寸劇の上演が目的ではなく、あくまでも子どもたちの問題をより具体的に考える上での一つの手だてである。県PTA研究大会のパネルディスカッションでは、より論点を深め、これをきっかけに子どもたちの生活での問題点や課題を明らかにすることができた。そして、子どもたちの様子で見えている部分だけでなく内面をさぐり問題点を見つけ出し、取り組むきっかけとなった。

各家庭や単位PTAが子どもたちの基本的な生活習慣を確立する取り組みや親と子それぞれの立場でどう向かい合い実践化するか、これから課せられた課題である。

そして、最後に出演者全員で次の歌で舞台のフィナーレを迎えた。

## 展 望

子どもの問題を考えるためには、大人自身が問題より具体的に身近にとらえ深く考えることが必要との考えから、市PTA協議会として寸劇に取り組んだというユニークな事例。シナリオを作成し、多くの単位PTA会長を中心に練習を重ね、一般会員の他にも教

育長・校長・教員などの出演・参加をえて、研究大会で発表。さらに寸劇後のパネルディスカッションでの検討・協議で好評をほくしたという。「PTA活動は楽しくなければ」という会員の声や「なぜ、そんなに高田のPTAは元気なのか」という近隣PTAの会長の声に、はしなくもPTA活動の本質を見る思いになる。



寸劇参加者全員

「さあ～、それではいってみようー！」  
 ♪ババンバ・バン・バン・バン♪ ♪あ～ピアノノ♪  
 ♪ババンバ・バン・バン・バン♪ ♪ハビバビバビバビバ♪  
 ♪ババンバ・バン・バン・バン♪ ♪あ～ピアノノ♪  
 ♪ババンバ・バン・バン・バン♪ ♪はあ～ピアノノ♪  
 ♪いい湯だな～、ハハハ♪  
 ♪いい時代、ハハハ♪  
 ♪おやじのゲンコツがごつんとあたまに～♪  
 ♪いてて～な！♪ ♪ ハ・ハ・ハ♪  
 ♪恐い～な！♪ ♪ ハ・ハ・ハ♪  
 ♪おやじのカ～ミナリ、糞の基本♪  
 ♪ババンバ・バン・バン・バン♪  
 ◆子供のことしてるか？◆  
 ♪ババンバ・バン・バン・バン♪  
 ◆話聞いてやってるか？◆  
 ♪ババンバ・バン・バン・バン♪  
 ◆自分勝手になるなよ◆  
 ♪ババンバ・バン・バン・バン♪  
 ◆毎日会話しろよ◆  
 ♪いい街だ～、ハハハ♪  
 ♪ならけんは、ハハハ♪  
 ♪やまとぼんちは、に～ほん～いち♪  
 ♪おちつくな！♪ ♪ ハ・ハ・ハ♪  
 ♪やすらぐ～な！♪ ♪ ハ・ハ・ハ♪  
 ♪こどもお日本一、きもちはやさしい♪  
 ♪ババンバ・バン・バン・バン♪  
 ◆朝ごはん食べたか？◆  
 ♪ババンバ・バン・バン・バン♪  
 ◆しっかり食べろろよ◆  
 ♪ババンバ・バン・バン・バン♪  
 ◆歯磨き忘れるな！◆  
 ♪ババンバ・バン・バン・バン♪  
 ◆じゃあ～、またなあ～◆ばいばい～◆